

5. 事業が長期間要している理由は？

元々が長期計画

不測の事態により長期化

- ・本事業は、砂防堰堤が4基計画されているため、全体事業費も大きく、元々が長期計画であった。
- ・また、既存の道路から堰堤工事箇所までの距離が遠く、適当な進入路が無いため、新たに工事用道路を設置しなければ工事着手ができないことから、それらの地元調整に時間を要したことも、長期化の要因となった。

6. 事業の対応方針は？

事業継続

事業中止

変更なし ・ 事業計画の変更 ・ スケジュールの変更

- ・本事業は、下流域の人家・国道等を土砂災害から保全することを目的としており、現在までに堰堤が3基完成している。
- ・土石流を捕捉し地域の安全を確保するため、その必要性、事業効果、効率性がともに現時点においても非常に高く、人命や財産保護の観点から必要不可欠である。
- ・残る2号堰堤に係る用地の早期取得を図るとともに、溪流保全工については、溪岸浸食の進行が見られないことから廃工とし、平成24年度までに事業を完成させたい。